

城

下町の夏を彩る
西尾祇園祭

六万石城郭城下町の祭典、西尾祇園祭が7月18日～20日の3日間、市街地や西尾駅西広場周辺を会場に繰り広げられ、延べ23万人が訪れました。

18日は約50年ぶりに復活した「町ぞろい」で開幕。19日はあいにくの雨で大名行列が中止となりましたが、獅子舞や中町大屋形、伊文神社みこしなどが市街地を盛大に練り歩きました。最終日の20日には、第20回市民総踊り「踊ろっ茶・西尾!!」に計1,376人が参加、祭りの盛り上がりは最高潮に達しました。



鯛

が舞い泳ぎ、大輪の花が咲き乱れる
宮崎ぎおん祭&吉良花火大会

真夏の祭典、宮崎ぎおん祭りと第26回吉良花火大会が7月26日、吉良ワイキビーチ一帯で行われました。

宮崎ぎおん祭りでは全長9m、重さ約800kgの大鯛みこしを、100人を超える若衆が担ぎ、「わっしょい! わっしょい!」の掛け声とともに、海岸沿いを練り歩いていました。吉良花火大会では、スターマインをはじめ、メッセージ花火、ミュージックスターマインなど約1,700発の花火が、三河湾の夜空を彩りました。約2万2,000人の観衆は、色とりどりの大輪の花に酔いしれていました。



7/20 1,000人クリーン作戦



宮崎海水浴場で行われ、早朝から集まった市民らが海水浴シーズンに向けて、環境美化に協力しました。

7/23 離島対策合同訓練

佐久島で林野火災を想定した合同訓練が行われ、県防災航空隊や消防団員らが輸送訓練などを行いました。



8/3 市国際交流協会 浴衣で盆踊り

総合福祉センターで行われ、色鮮やかな浴衣を着込んだ外国人たちが、楽しく踊っていました。



8/7・8 冷抹茶の無料呈茶サービス

市役所ロビーで行われ、西尾中・東部中・平坂中・鶴城中の茶道部生徒により、冷たい西尾の抹茶が市役所に来庁された方に振る舞われました。



今月の表紙

西尾市ふるさと大使である中日ドラゴンズの岩瀬仁紀投手が7月26日、ナゴヤドームでプロ野球史上初の通算400セーブを達成しました。前人未到大記録ということで、球団と球場、中部写真記者協会の皆さんのお取り計らいにより「広報にしお」のためだけに撮影させていただいた、大変貴重な1枚です。



©中日ドラゴンズ

試合終了後の記者会見にも同席させていただき、熱気冷めやらぬ岩瀬投手のインタビューも聞くことができました。「つらい思いをさせている」とご両親をいたわる言葉と「次の目標は401セーブ」という堅実な言葉がとても印象的でした。

本 と利用者をつむぐ 一色MANABIフェスタ

一色MANABIフェスタが8月1日～3日までの3日間、一色学びの館で開催され、1日には「子ども一日司書」が行われました。小学4～6年生の児童9人が参加。司書の仕事の説明を受けた後、本のブッカーかけや本の貸出・返却、検索・整理を体験しました。特に本の貸出・返却では、一般の利用者に対する窓口対応など貴重な体験をしていました。



頂 を目指し、漕いで漕いで漕ぎまくる 第18回はずストーンカップ

はずストーンカップ チャレンジレース2014が8月3日、東幡豆港で行われました。

小雨交じりの天候の中、スタートの合図で選手らが掛け声を合わせて漕ぎ出すと、それに応えるように手作りのいかだが力強く三河湾を疾走しました。第18回目の開催となった今大会は、選手らの日ごろの練習の成果が十分に



発揮され、好タイムでゴールするチームが多く、レベルの高い激しい上位争いとなりました。表彰式では優勝したチームは歓喜にあふれ、届かなかったチームは来年のリベンジを誓い、お互いの健闘をたたえ合っていました。

